亜墨利加漂流記

862
119
1

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1

ガラス使用

25 53 I

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1

ガラス使用

862
119
1
87

亜墨利加漂流記 全

安政二乙卯年

五月四日写

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1

ガラス使用

862-1
(87)

掃苑小原殿大将村松並八三郎船永力凡

沖船頭楊列之為　万蔵　子之月ヲハイ之ス病死

水主　口玉　安太郎　寅七月カバ行ニ病死

口　口玉　治治　アメリカエ生ニ

口　口玉　長太郎　口行

口　口玉為本庄　浅太郎　無難場玉

口　口新　清太郎　口行

口　口新　家八　口行

口　朱本庄　弁代蔵　口行

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1
ガラス使用

佐也一青ハ勝利ヲ得テ清ハ四ヶ所ノ砲台ヲ奪ハレ又海陸ノ兵ヲ
其ノ地ニ出セシモ皆ナ敗走シ遂ニ旅順口ヲ棄テ逃ケ去リ
ヌルヲ以テ清ハ和ヲ請ヒ日本ハ之ヲ容レ下ノ関ニ於テ
講和条約ヲ調印シ尚ホ其ノ後ニ於テ遼東半島ヲ清国ニ
還付スルノ条約ヲ結ヒ茲ニ始メテ平和ノ克復ヲ見ルニ
至レリ

清国ヲ一撃ノ下ニ屈服セシメ日本ノ八九月ノ時ヲ費ヤシ
タルニ過ギス又アメリカ合衆国ニ於ケル戦争ハ僅ニ
六ヶ月ニシテ終ヲ告ケタリ平和ノ克復セラルヽヤ
次ノ大統領撰挙ノ期ハ来レリ而シテ其ノ候補者ハ
旧ノ如ク

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1

ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1　　ガラス使用

アメリカ数のよう　十ハてんとがん
きハがん　六ハせき　亦ハてうてん
亦ハてう　七ハさび　三十ハつりてん
三ハつり　八ハ行れ　石ハまんまん
四ハ行る　九ハなれ　魚ハびつし
又ハたい　十ハ天　歌ハなにぐら

アメリカヲ出　少子又百里程西南ヘ命
なまひと出て付　八日滞留
魚のたんかん　おまひ子又子又十里を
てうし
バん略ふ　金星川（カミオモウ）　アモヨ　天皇　如称ら
上海（サンバイ）　名浦（テヤツフウ）　テウセンノキハナリ

一千年月報三百八十四日ハ清したんまいまいとほう
犬ハけん　猫ハそつ　牛をカヲ　馬をほうす　并をまいし　小麦をふらハ
男ハまいの女ハとめ之を男の子をほうや女の子ハげろ
狐ハ青ハ　天命ハボウジ　其外　祝ハ　迎ひ

小西貴利加（アメリカ）ヲハヒトヤ大清（オニワラニ三三コヨリ）（小アメリカオニワラニ三三コヨリ　西南ヘ通し　凡少子又百里余）庫長コントニノ月ハシカント
ヤ所ヘ入津ハ紫イキリス出張　数所ハ　天ハワンフウ又ハシカントヤ　又クウ
リウトヤ城下ニ来し　夫ハ南東ヘ　年ハ運事　貿織ニ　難渋なし　夫
ハ金星川（カミオモウ）トヤ所ニ入津　マカウヘ入津　又アモイヘ入津　二百滞　船
夫ハ印度（イント）ニ　アメラトヤ所ヘ入津　此西大幡国ハ十月中旬ニ　十二月
其入津ハ　四年ニ　七月時ハ　笑ハらまてなし　十二月末ニ　滞　船聖母
年十二月中旬　上海（サンバイ）トヤ所ヘ入津　此地ハ　南庵州　高名（ヲト）トヤ　もの
住居ハ　人ハ　中国ハ　了遠ニ　五年ハ　来り　心安くなり　高名宅ヘ
来りて　屋　高名　五年　早ニ　来ニ　来ル　屋　天皇センガツハトヤ所の

アメリカ数のよう　十ハてんとがん
そしハがん　六ハせき　ホハてうてん
小ハてう　七ハさび　三十ハつりてん

アメリカヲ出 北子ヲ西里程西南ヘ命
なるひと出ニ付 八日滞留
庵のてんかん　おさひ千又子ヲ六十里ヲ

右ハ唐ノ村市場中ト為常庄屋山形村庄屋伴治屋代市場中ト又西ノ安政二年年
里長 海中 金屋ヘ代和 返帰中 海中 南海ヲ通ル 赤水ニ成年九月
十五日 松見神ノ加帆一旦 ヲ入ル 篇松 海 掛志 帰ルヨリ 沖ノ漂流ヲ

小西貴利加ヲハヒトヲ大清（アメリカ）（オニワラニ三三コヨリ）（小アメリカオニワラニ三三コヨリ 西南ヘ通ル 凡少子ヲ西里余）庵長コントニノ月ハ三カント
ヲ所ヘ入津ニ付ホイキリス出張 鎮所ヲ居ル 天ノワニフウ又ハ三カント 場ヲ又クウ
リウトヲ城下ニ乗リ 夫ノ南東ヘ 乗ナ途中 蒼穢ニ 難渡ヲ居ル 夫
ヲ金里川（カミオモウ）トヲ取ル入津ニ カウヘ入津 又アモイヘ入津 二百滞 船
夫ヲ印度（イント）ニ向ヘ メラトヲ取ル入津ニ 西大 蝗風ニ 十一月中旬ヲ十二月
其入津ニ 田本ニ 七月時ニ 覚ヘ 見ヘ 十二月 赤ニ 滞 船 翌丑
年十二月中旬 上海（オニバイ）トヲ取ル入津ニ 此 日本庵 帰ル 青石（ヲト）トヲ 此の
伴 居ルヨリ人 中ニ 遠ニ 無ニ 小 来リ 心安ク 有ル 宅ヘ
乗ル 天ノ 屋 青石 南ヘ 早ク 安ヘ 有ル 屋 天竺セニガツハトヲ取の

婦人（おとせ）と妻（つま）を以（もっ）て天空（てんくう）より甲板（かんぱん）
檣（ほばしら）の中（うち）へ吊（つり）上（あ）げ南（みなみ）へ向（むか）ひ走（はし）る今（いま）
汽船（きせん）一同（いちどう）（ウラヤマ）無事（ぶじ）にて
汽船（きせん）小亜墨利加（アメリカ）より私（わたし）宅（たく）へ
の柿（かき）の木（き）梅（うめ）の木（き）初（はじ）めて大木（たいぼく）ゆえ
ゆえのよう一面（いちめん）に緑（みどり）なり七八分（しちはちぶ）も体（からだ）
付（つき）金銀（きんぎん）等（とう）土蔵（どぞう）へ預（あず）け
漂流（ひょうりゅう）前（まえ）芸妓（げいぎ）久米（くめ）
多用（たよう）にて
為（ため）に
するのよう
一同（いちどう）
無事（ぶじ）

安愛二 卯年五月四日蘆内中屋浦ゟ写

諸国産物硯名石書附覚

一書　若別支川石　七書　右別　右石
二書　作別高田石　八書　奥別　正法寺
三書　甲別田畑石　九書　信別　木葉石
四書　丹別石王寺　十書　江別　高倉石
五書　長別赤間関　十一書　浜別　鞍老石
六書　上別桜川　十二書　城別　加茂川石

右安愛二 卯年子四春 異本村保治郎殿直筆書 [illegible]

[illegible]

一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]
一 [illegible]

[illegible]

862
1

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1
ガラス使用

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』 請求記号 862-1

ガラス使用

862
119
1

国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』 請求記号 862-1

ガラス使用

ガラス使用
国立国会図書館　タイトル『亜墨利加漂流記』　請求記号 862-1